

うしくでびっくり!

NO50

うしくでびっくり
けんしんのまね



おくの地区社協
さくいいだあきお

なっちゃんが、みちをある
いていると おかあさんが、

「このみちを^{うえすぎけんしん}上杉謙信が、と
おったんだよ」

「え～、ほんとう！」
なっちゃん、おどろいた。

「どうして^{けんしん}謙信が、とおった
の？」

「ん～、わからないわ。おじ
いちゃんにきいてみたら・
・
・。



なっちゃん、おじいちゃんにきいてみた。ものをよーくしっているおじいちゃんが、だーいすき。

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。どこかな？



わたしは、なぜなぜでーす。

おじいちゃんに
きいてみると



「そうだな・・・。むかし、きいたはなしだが、
このみちを上杉謙信の
ほかにも北畠親房・鎌倉
権五郎・源頼朝らが、
とおったんだ。くわしい
ことは、あきおさんに
きいてみれば・・・。い
っしょに　いってあげる
よ」



やくそくのひ。なっちゃんとおともだちふたりと、おじいちゃん、あきおさんのいえにいった。

おじいちゃんは、ようじができて、いそいでかえっていった。

でも、なっちゃん、ゆうきをだして、謙信けんしんについてきいてみた。

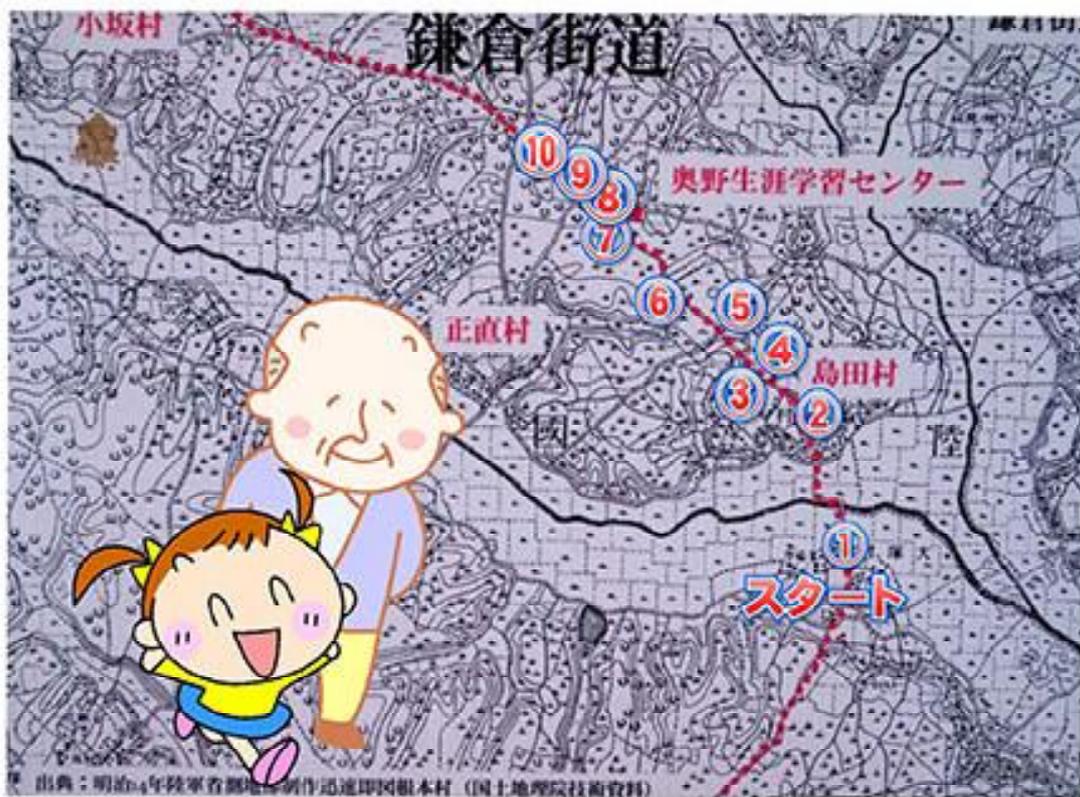
すると、にっこりわらってはなしてくれた。

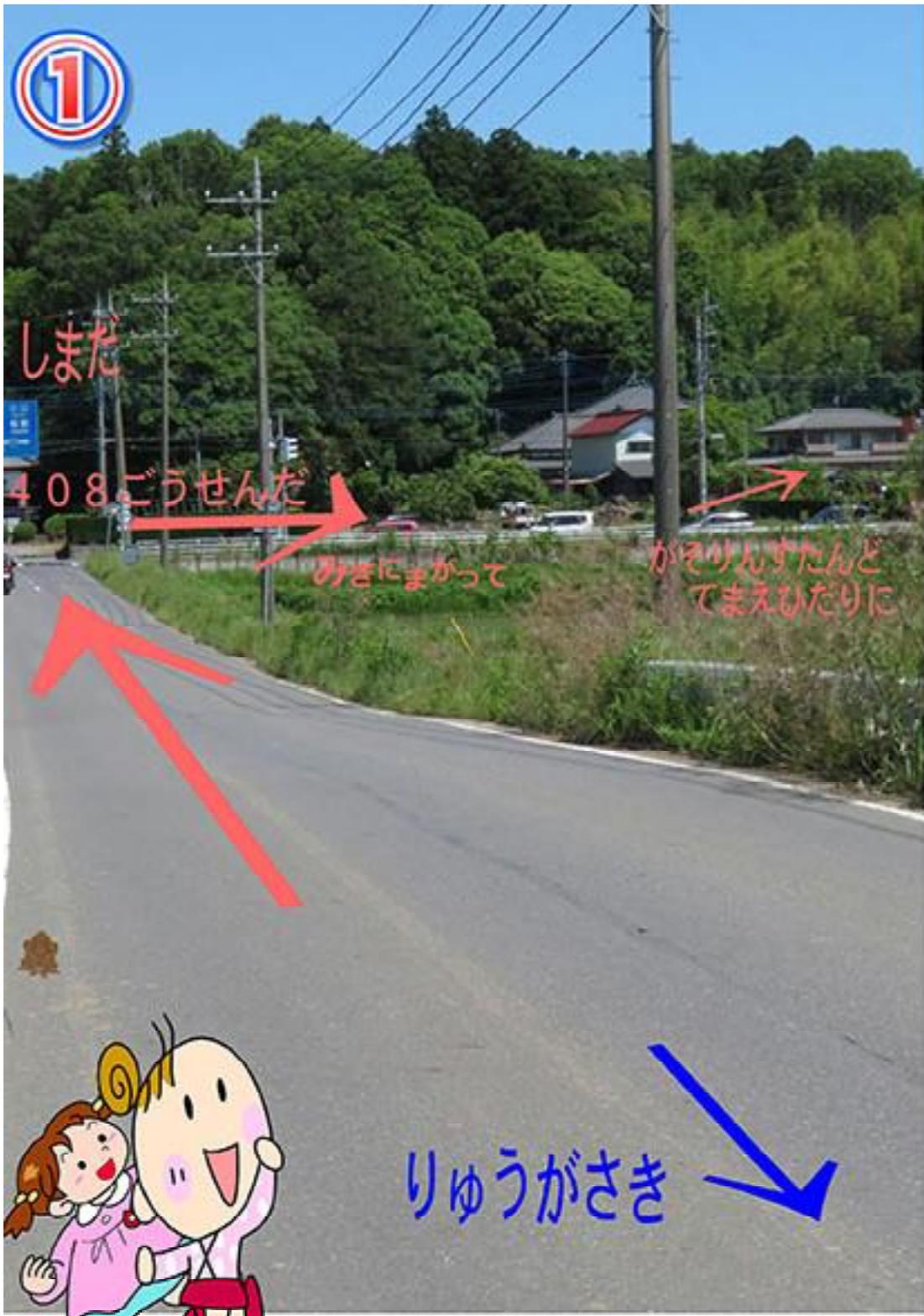
では、まず、謙信けんしんがとおったかまくらかいどうについて、はなそうね。

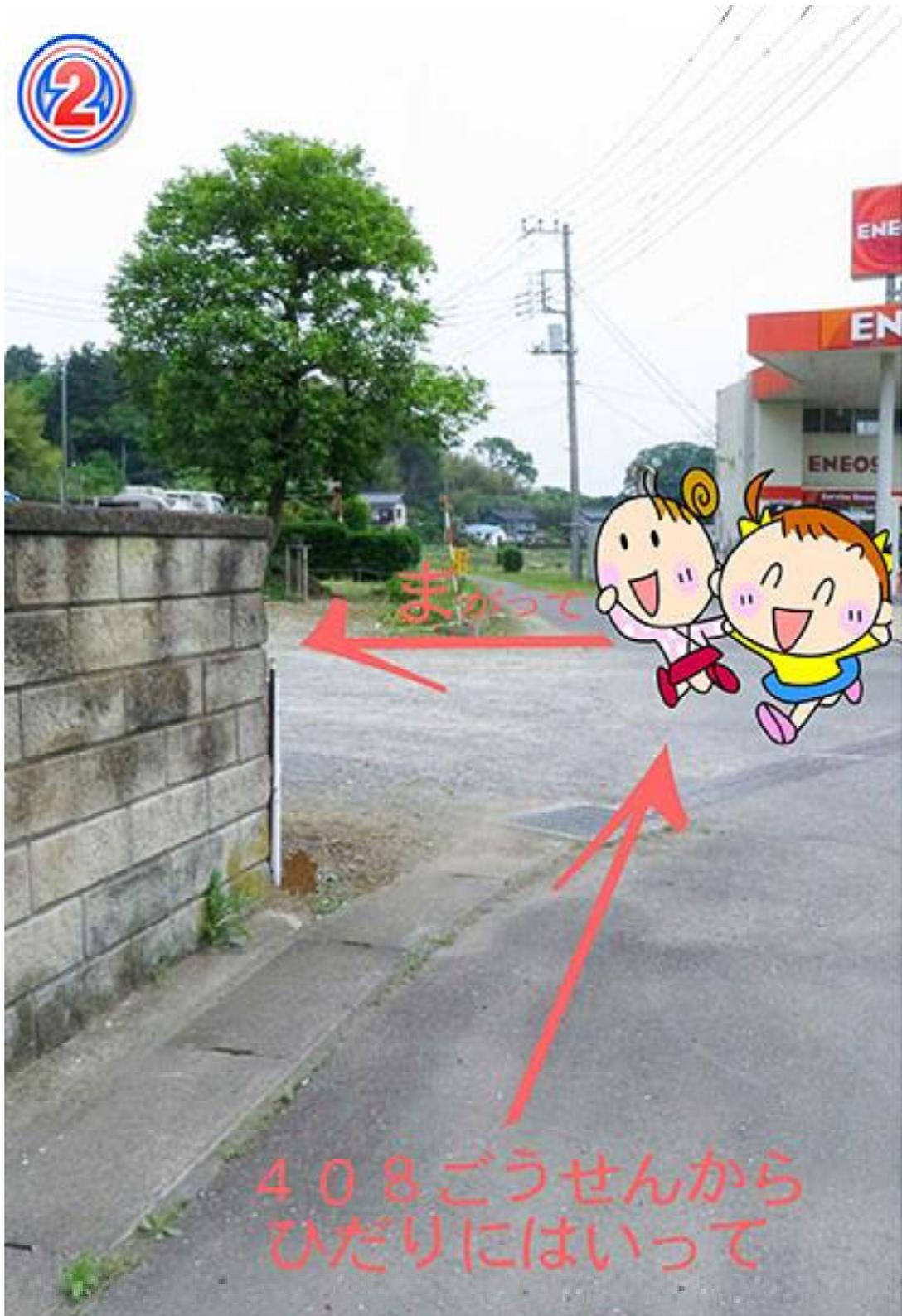
「かまくらかいどうは、どこ
のみちかというと・・・」
とはなしてくれました。

でも、3にんとも、きよと
一ん。わからなかった。

みかねた あきおさんが、
あんないしてくれました。ちず①
からスタート。







3

わー
まじゅ



まぼろしの
ごとうだ！







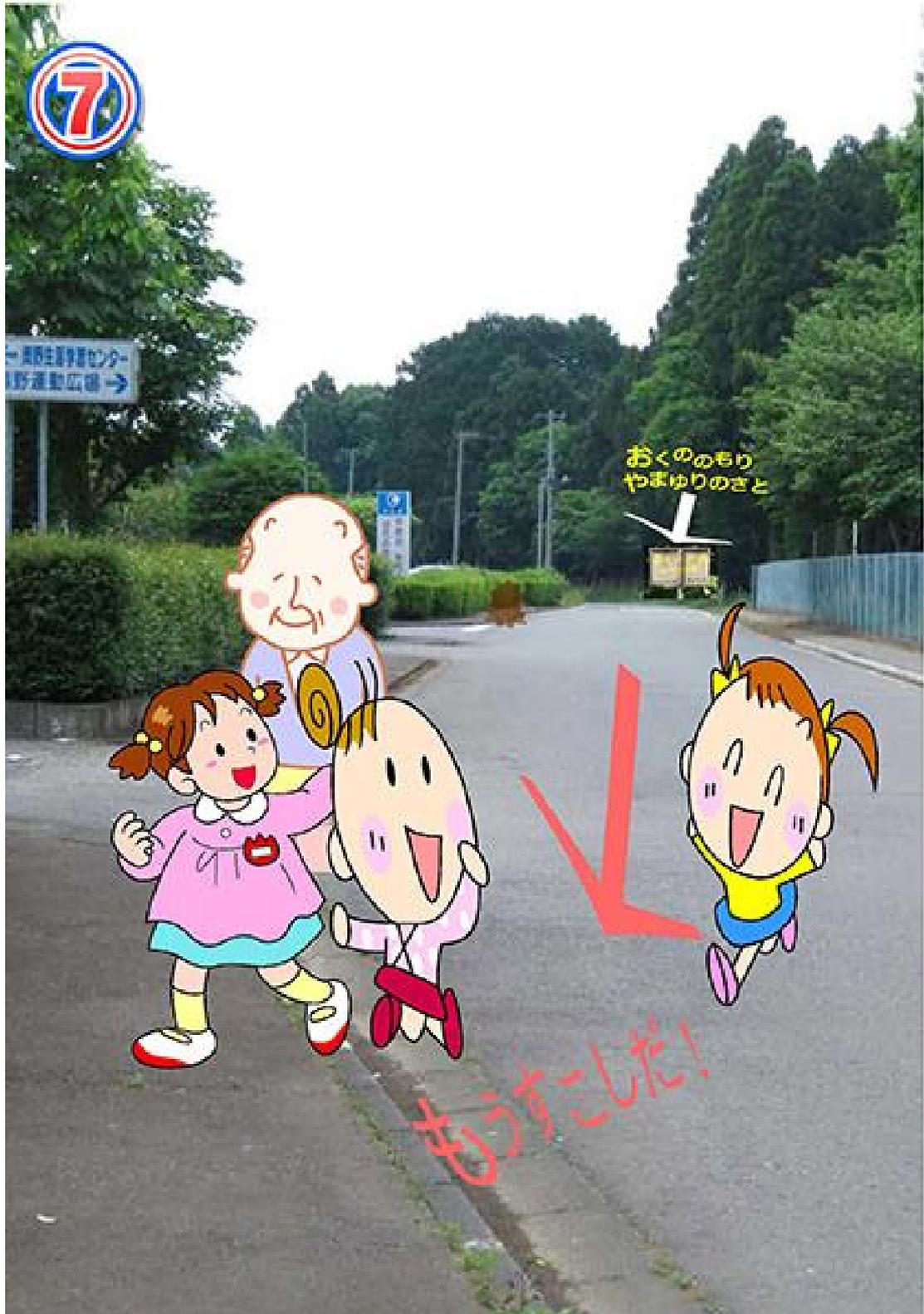
かしましんじゃ

やっと
いらなみちになった

まがって



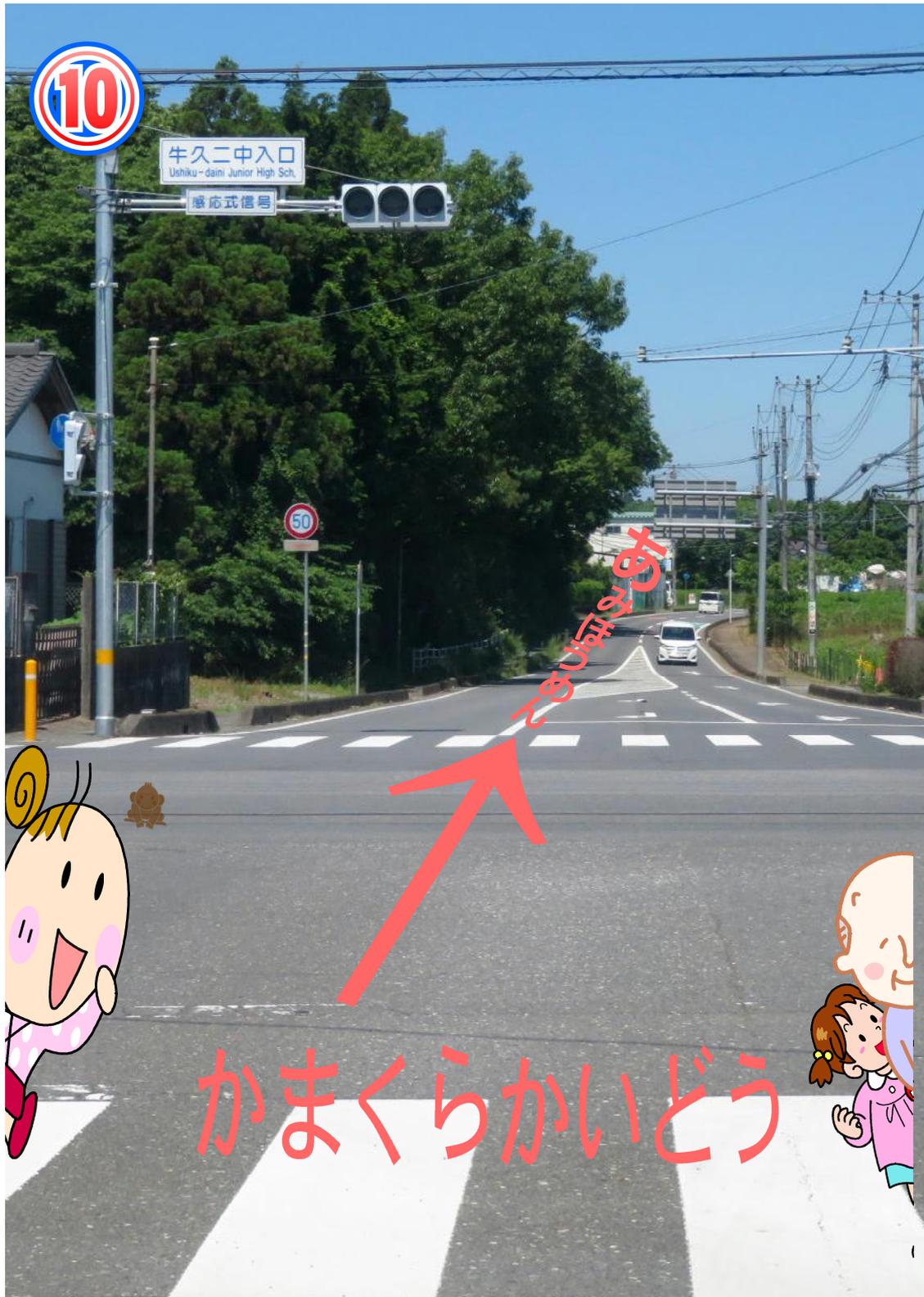






9



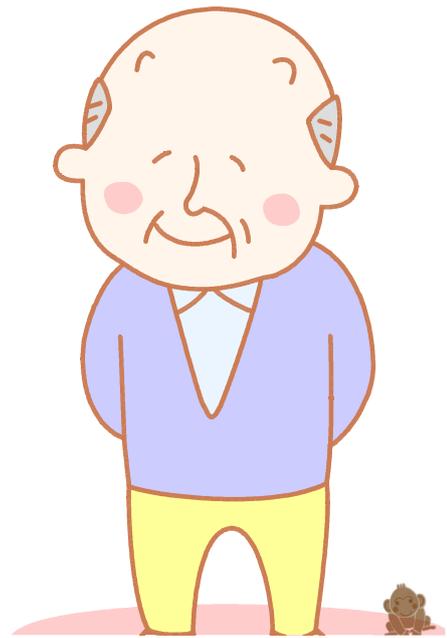


「いまきたみちが、かまくら
かいどうなんだよ」

と あきおさん。

「そうか、このみちが・・・」
さんにんは、びっくり！

「でもね、にほ
んに かまくら
かいどうが、3
つ。そのなかの
ひとつ (しもつみち)
が、このみち (よ
こはま・とうきょう・ふ
かわ・しまだ・おさか・
うしくをとおる) なんじゃ。



このみちは、鎌倉時代の吾妻鏡に「北条氏が、むかしからあった古道をととのえてつくったみち」とかいてあるんだ。

「ほかの道①②は、どこにあるの？」

「ここだよ！」

①

かみつみち

②

なかつみち

しもつみち



あわせて3つだ。

びっくりに!

そうだったんだ!

ここで**くいず**。

かま くら じ だい
鎌倉時代 (やく1000ねんまえ) から、**かま くら かい どう** というなまえがあった。

ほんとう かう そか?

「もちろん、**ほんとう**だとおもわ。」

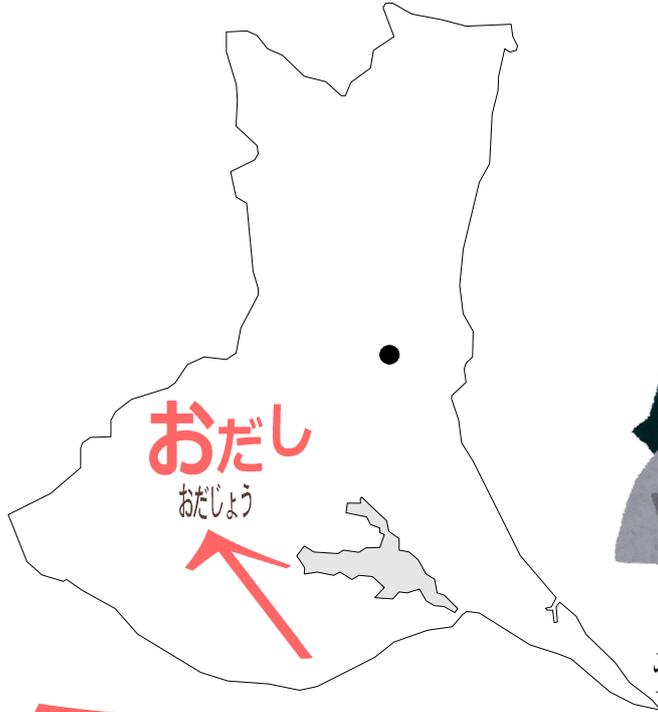
「ざんねん！　それが、ち
がうんだよ。じつはね。か
まくらかいどうと はじめて、
でてきたのは・・・？

^え^ど^じ^{だい}江戸時代の^{しん}^{べん}新編^む^{さし}武蔵^ふ^ど^き風土記
^{こう}稿なんだよ。

びっくり！

「じゃー、^{けん}^{しん}謙信のはなしに
もどそうね。どうして、この
みちを^{けん}^{しん}謙信が、とおったか
という・・・。

ほ う じ よ う
北条がたの おだしをたお
すために、とおったんだ。

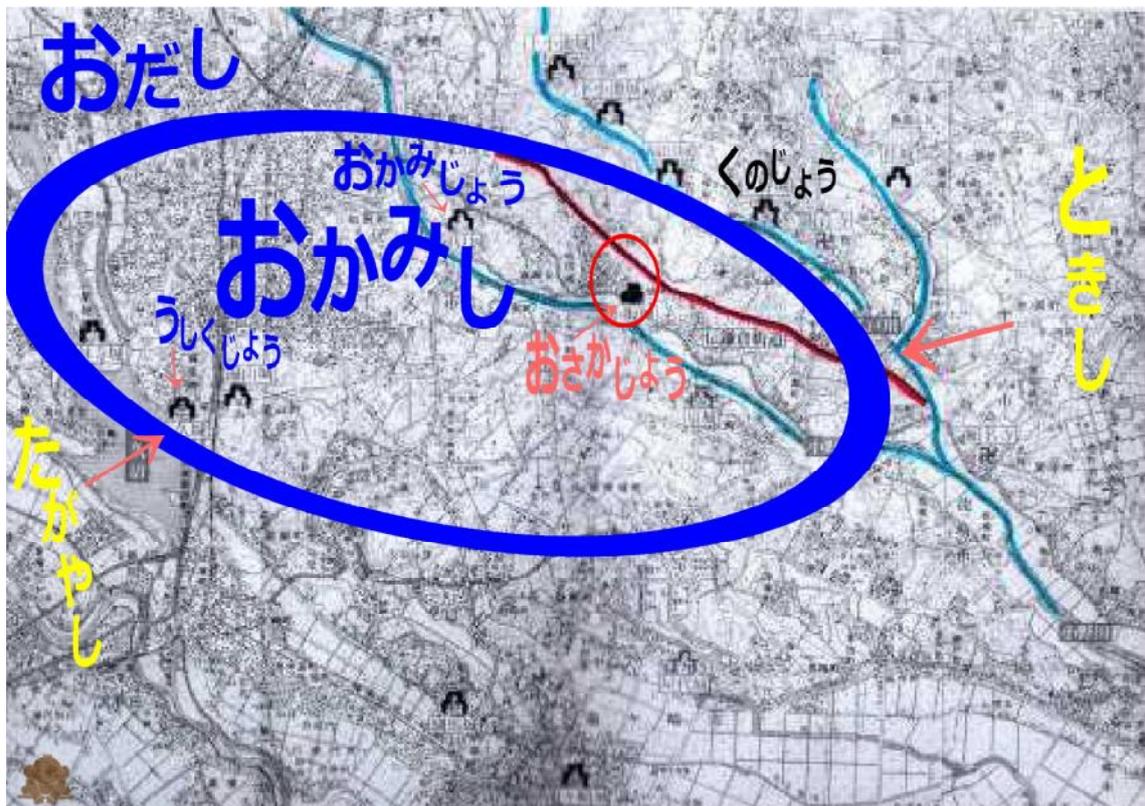


う え す ぎ け ん し ん

びっくらり！

と う り ん じ じ よ う
東林寺城にとどまってから
お た じ よ う
小田城
にむかったといわれているんだ。

じつはね。ときは、戦国時代。そのころのおくのちくには、岡見氏・土岐氏・小田氏が、あそそっていったんだ。



そこに北から佐竹氏、南から北条氏が、ちからをのぼしてきて、あらそいが、ひどくなっただ。そこで、謙信にたすけをもとめたんだよ。

謙信は、1600年に北条氏をたおすために春日山城をやく8000にんで、しゅっぱつ。小田原城をとりかこんだときには、なんと11まんにんにふくらんでいたんだ。もちろん岡見氏や小田氏もいたんだ。参陣した武将はやく250にん。

ほぼ、かんとうをとういつしたんだ。

びっくり!



でもね。10日^かくらいかこ
んで、すぐ、じんをひきはら
ったんだ。

びっくり!

どうして?

わけは、2つ。
ひとつは、はい
ごから武田氏が、
こうげきのかま
えをみせ、今川氏
は、えんぐんを
おくって、北条氏



をおうえんしたこと。もうひ
とつは、かんとうのほくぶで、
きが (たべものが、たりないこと) になっ
ていたんだ。

謙信は、じんをひいたあと、
室町幕府にみとめられかまく
らで関東管領職の就任式をお
こなったんだ。そこには小田
氏もいたんだよ。

ところが、1563年2月佐竹氏
が謙信の関東しゅつじんにく
わわっていたすきに小田氏が、
せめかかってきた。びっくり！

こまった佐竹氏は、謙信に
たすけをもとめたんだ。おこ
った謙信は1564ねん、越後国
をしゅつじん。6がつ6にちよ
るには常陸山王堂国(つくばさんのちかく)
にじんをはった。

あまりのはやさに関東のえ
んぐんは、まにあわず兵は8000
よき。小田氏は、謙信がせめ
てきたときいて、びっくり！
あわてて3000よきをあつめて
小田城をしゅつじん。

山王堂のたたかいはじま
った。

げきせんのすえ、小田氏は、
はいそう。たたかいが、おわ
ったんだ。謙信のへいをうごか
すうまさや、はやさが、きわだった
たたかいだった。

だから

えちご りゅう
越後の龍

ぐんしん
軍神

びしゃもんでん

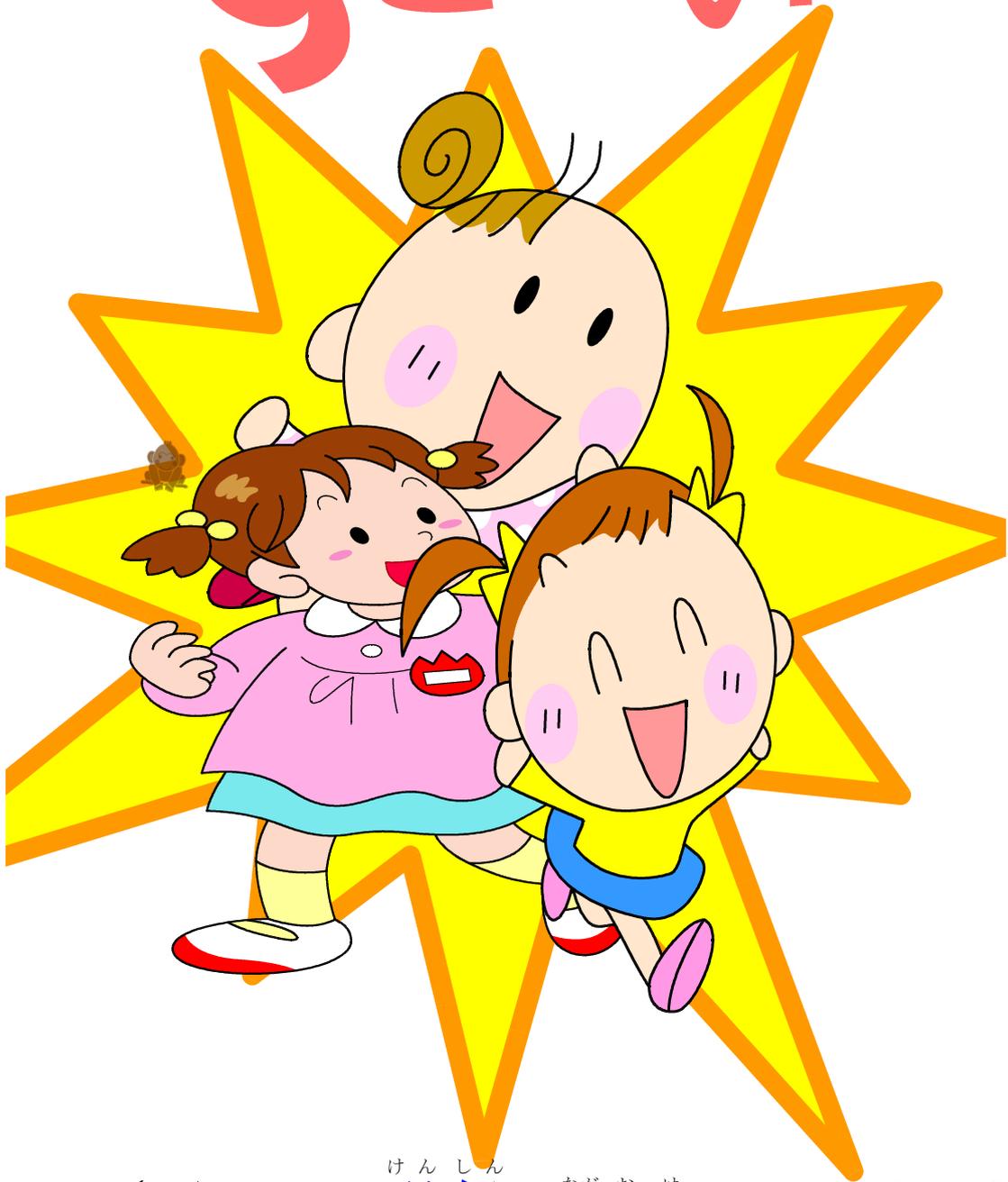
比沙門天の化身



(たたかいのかみ)

と いわれたんだ。

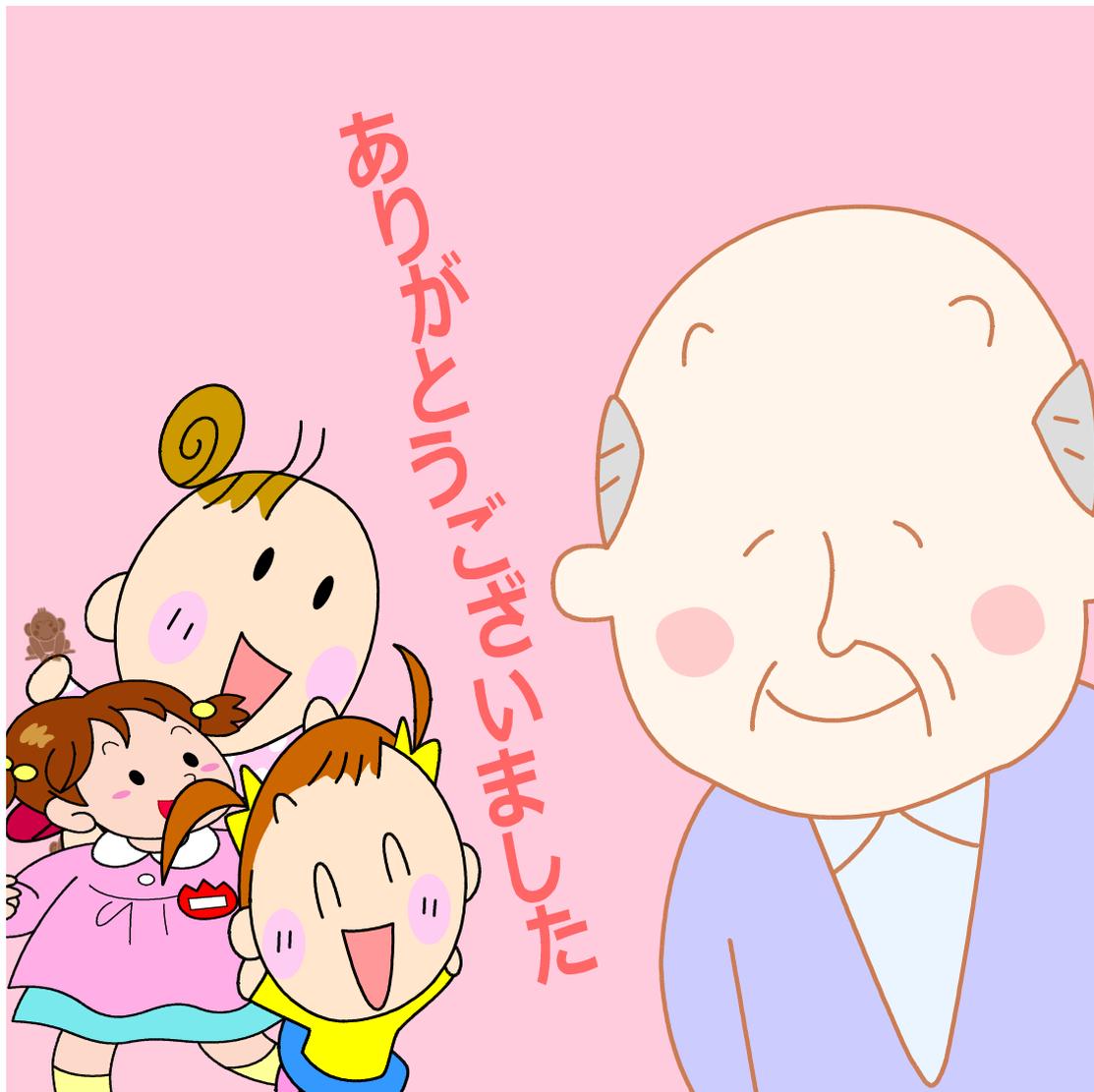
すごーい



さらに、けんしん謙信ながおけ(長尾家)のせんぞ
かまくらかいどうは、鎌倉街道ゆかりのかまくらごんごろう鎌倉権五郎
なんだよ！またまた、びっくり！

なっちゃんたちは、おおよ
ろこび。

あきおさんに おれいをい
って かえっていった。



なっちゃん、いそいで
かえって、おじいちゃん
に おしえてあげたよ。



「よーく、しらべたね」

えらい えらい

と めになみだをうかべ
て、よろこんでくれた。

なっちゃん、おもわず
にっこり。

こうして、なっちゃん
は、うえすぎけんしん上杉謙信ゆかりの**か**
まくらかいどうが、おく
ののたからものの一つだ
ということが、よーくわ
かった。

さて、こんどは、なに
をしらべようかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と なぜなぜ
くん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら か
えっていった。

またね